

番号：130817

国名：イラン

担当部署：農村開発部 畑作地帯課

案件名：ゴレスタン州住民参加型農業開発促進プロジェクト（ファシリテーション技術指導）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：ファシリテーション技術指導
- (2) 格付：2号
- (3) 業務の種類：専門家業務

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2013年9月下旬から2013年11月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.2M/M、現地 0.63M/M、合計 0.83M/M
- (3) 業務日数：準備期間 2日、現地業務期間 19日、整理期間 2日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：正1部、写4部
- (2) 見積書提出部数：正1部、写1部
- (3) 提出期限：9月4日（12時まで）
- (4) 提出場所：調達部受付（JICA本部1F）

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針：
    - 1) 業務方針の的確性 6点
    - 2) 業務方法の整合性、現実性等 12点
    - 3) 当該業務実施上のバックアップ体制 2点
  - (2) 業務従事者の経験能力等：
    - 1) 類似業務<sup>注1)</sup>の経験 40点
    - 2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域<sup>注2)</sup>での業務経験 8点
    - 3) 語学力<sup>注3)</sup> 16点
    - 4) その他学位、資格等 16点
- (計100点)

注1) 類似業務：ファシリテーションに係る各種業務

注2) 対象国／類似地域：イラン／全途上国

注3) 語学の種類：英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：なし

### 6. 業務の背景

イラン国の農業分野はGDPの約10%、就業人口の約30%を占める重要なセクターであるが、国土の3/4が年平均降水量300mmに満たない地域で、国全体の年平均降水量も250mm程度に留まっており、農業にとって水の確保が重要な課題である。こうした中でJICAはこれまでに、北東部カスピ海沿岸の年平均降水量が多く水田稲作が盛んなマザンダラン州及びギラン州を主たる対象として、稲作の生産性の向上のため、技術協力プロジェクト「カスピ海沿岸地域農業開発計画（1990年～1996年）」及び「ハラズ農業技術者養成センター計画（1999年～2004年）」を実施し、①圃場整備及び機械化稲作にかかる農業関係機関職員への技術移転、②これら技術の普及のための研修実施体制の整備、③農業関係機関の他職員や中核農民に対する研修を行なった。その結果、これら地

域においては、圃場整備と機械化が進み、生産性向上（単位面積あたりの米収量の増加等）が図られてきている。

一方、その他の地域のうち、カナート（地下水源からの導水）を利用した地域を除き、従来より天水農業が行なわれていたが、イラン国は、こうした地域を中心に、灌漑開発を進めてきた。ゴレスタン州はこうして灌漑開発が進められてきた重要な州の一つで、州内の灌漑農地面積は1996年からの10年で約4割増加した。農業就業人口比率は46%（全国一位）、州面積に占める農地面積（約54万ha）の比率は26%と高く、農業が基幹産業であり、主に飼料作物や小麦、大麦が栽培されている。

JICAは、このゴレスタン州のゴルガン平原を対象に、2002年1月より13か月間、水資源の有効利用と塩害防止策を考慮した灌漑排水計画の策定のための開発調査「ゴルガン平原灌漑排水及び農業開発計画調査」を実施し、その中で本プロジェクトの支援対象地であるタザ・アバッド灌漑地区など2灌漑地区の詳細開発計画を含む開発計画が策定され、①営農、②灌漑排水、③農業生産組合強化の方向が示された。イラン国政府は、同開発計画を受けて独自の予算で、施設整備を実施してきているが、農民への営農指導や農民組織の強化（特に水管理機能）が不十分なこともあって、整備された灌漑設備が十分に機能しておらず、地域の農業生産性は低く、農民収入も低い水準に留まっている。このような背景のもと、イラン国政府は、我が国に本技術協力プロジェクト「ゴレスタン州住民参加型農業開発促進プロジェクト」を要請した。プロジェクトは「タザ・アバッド灌漑地区に参加型水管理を普及させるための体制が整備される」ことを目的に、2009年1月16日に開始、2014年1月15日に終了予定である。

参加型水管理モデルの普及のためには、カウンターパート（C/P）機関であるゴレスタン州農業局職員が地域農民と適切なコミュニケーションに基づき、必要な情報を把握することが必要不可欠という認識の下、プロジェクトはファシリテーション能力向上を重視し、2012年度にはC/P7名を対象にこれにかかる本邦研修を実施した。ここで研修参加者へ紹介したファシリテーション手法は、書籍「途上国の人々との話し方：2010年/みずのわ出版」に詳説される「国際協力メタファシリテーション手法」に基づき、①事実質問を核とした村人とのコミュニケーション及びパートナーシップの形成、②コミュニティを主体とした課題分析、③アクションプランの作成という構成・流れで5日間のファシリテーションスキル向上のための研修を行った。この結果、参加者は農家のオーナーシップ醸成、活動への参加促進、活動の持続に関する支援を行う行政職員のファシリテーション技術の重要性を深く認識して本邦研修は成功裏に終了し、本邦研修後は各自が独自のスタイルで実践し、ファシリテーションの考えや事実質問の技術を活用し、研修中に修得したファシリテーションの知識を各自が自らの理解の範囲内で実践に移すことができるまでに至っている。

今後、参加型水管理モデルの普及を効果的に行うためには、帰国研修員が限定された本邦期間での学びの範囲に依らず、より専門的観点から現場の指導を通じて技術を磨く必要がある。本業務は、本邦研修後のファシリテーション研修の内容をフォローアップし、帰国研修員及び参加型水管理モデル普及に携わる他の多くの農業局職員がファシリテーション技術を十分習得し、参加型水管理の普及に貢献することを目的に実施するものである。

## 7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、本邦研修にて実施されたファシリテーション技術の内容に基づき、プロジェクトが目指す参加型水管理モデルの内容を各種報告等から背景・経緯を把握しつつ、技術移転の対象とするイラン側C/Pの面する課題や能力、理解度を現場観察でよく踏まえたうえで、実践的ファシリテーション技術を移転する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### （1）国内準備期間（2013年9月下旬）

- 1）既存の文献（プロジェクト進捗報告書、本邦研修実施報告書、など）を基にプロジェクトの目指す参加型水管理モデルの進捗状況を把握する。

### （2）現地派遣期間（2013年10月下旬～11月中旬）

- 1) 2012 年度の本邦研修参加者を中心に、専門的な立場からファシリテーション技術について、現場での技術指導を行う。
- 2) 参加型水管理モデル国内・州内普及チームメンバー及び農村組合組織関係者に対し、ファシリテーションの説明会を実施し、持続的な農家組織の活動を支える上で、行政職員のファシリテーション技術の重要性を理解させる。
- 3) 参加型水管理モデル国内・州内普及チームメンバー及び農村組合組織関係者に対し、ファシリテーション研修を実施し、事実質問等のトレーニングを行う。
- 4) 2012 年度の本邦研修参加者研修参加者の中で、農家組織育成や普及関連を担当する C/P に対し、習得されたファシリテーション技術を他者に指導できるよう、重点的に指導を行う。
- 5) C/P 機関による Facilitator Group 会議 (FG) にて、プロジェクト関係者に対して活動報告を行う。
- 6) プロジェクト専門家と協議し、C/P のファシリテーション技術向上に対し、助言・指導を行う。
- 7) 現地業務報告書 (英文)を作成し、JICA イラン事務所及び C/P 機関へ説明、提出する。

(3) 帰国後整理期間 (2013年11月中旬～11月下旬)

- 1) 専門家業務完了報告書 (和文)を作成する。
- 2) 帰国報告会に出席し、担当分野に係る活動結果を報告する。

## 8. 成果品等

本契約における成果品は (2) 専門家業務完了報告書とする。

- (1) 現地業務報告書  
英文 3部 (JICA農村開発部、JICAイラン事務所、C/P機関)
- (2) 専門家業務完了報告書  
和文 2部 (JICA農村開発部、JICAイラン事務所)  
上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データも併せて提出すること。また上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データも併せて提出すること。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等  
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます (見積を計上して下さい)。航空賃については、成田 (日本) - テヘラン間のみを計上して下さい。テヘラン - ゴルガン間の空路移動については、プロジェクトが手配します。

## 10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境
  - 1) 現地業務日程  
現地派遣期間は2013年10月28日～11月15日を予定しています。
  - 2) 現地での業務体制  
本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです (本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ)。
    - ・チーフアドバイザー/参加型水管理 (長期派遣専門家)
    - ・業務調整/研修 (長期派遣専門家)
    - ・灌漑排水 (長期派遣専門家)
    - ・営農システム (長期派遣専門家)
- 3) 便宜供与内容

JICAイラン事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎  
あり
- ② 宿舎手配  
あり
- ③ 車両借上げ  
あり
- ④ 通訳備上  
あり（日本語-ペルシャ語）
- ⑤ 現地日程のアレンジ  
プロジェクトチームがアレンジします。
- ⑥ 執務スペースの提供  
プロジェクトオフィス内の執務スペース提供

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料をJICA農村開発部畑作地帯課（TEL:03-5226-8442）にて配布します。

- ・2012年度本邦研修報告書

また、本業務に関する以下の資料が当機構のウェブサイトで公開されています。

- ・プロジェクト概要：<http://www.jica.go.jp/oda/project/0702186/index.html>
- ・プロジェクト基本情報：

<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/28293E262A6F0C03492575D10035B89A?OpenDocument&pv=VW02040104>

- ・中間評価報告書：<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000006946.html>

(3) その他

- 1) 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます（冒頭留意事項参照）。